

## 令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	待合室設置によるバス停から広がる地域住民の安心・安全な地域づくり事業
事業主体 (連絡先)	戸隠中学校バス通生徒の安全を守る会 〒381-4102 長野市戸隠豊岡 378-1
事業区分	(1) ④ 安全・安心な地域づくりに関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	832,134 円 (うち支援金: 563,000 円)

### 事業内容

#### 1 バス通生徒の見守り活動

会員が黄色い帽子をかぶって、中村バス停、中社地区区内及び宝光社地区内バス停周辺で月1回程度見守り活動を実施してきた。会員は、バス停のそばに立ち、大人から率先して挨拶をしたり声かけをしたりするよう努めた。そういう活動を通して中学生や地域住民との交流を図ってきた。



#### 2 屋根つき待合室の設置

県元気づくり支援事業と地区住民が協力し合って鉄骨の屋根つき待合室を設置し、主に戸隠中学校バス通生徒を悪天候時雨、風、雪などから身を守ることを図った。居心地よいように丸太椅子を置いた。また、待合室の両側に、中学校と協力して花壇を作



って、花を植えた。

バスの安全のために、待合室の前部の屋根の縁に反

射テープを貼付した。

10月8日(水)午後、バス通生、会員、住民と

で、

竣工式典を実施した。  
(挨拶 バス停標示序幕 生徒の室内見学  
生徒のお礼の言葉)

次第に、中学生だけでなく地域住民の利用する姿も見られるようになった。



#### 3、清掃や美化活動

待合室本体工事は業者に依頼して設置できたが、清掃活動などの維持管理は、会員や住民と戸隠中学校が協力して行ってきた。また、椅子や掲示板作成、花壇の整備などの活動を会員と戸隠中学校及び住民が協働して行ない完成した。

花壇には、春と初冬に植え替えを行ない、いつも花が咲いているように努めてきた。



### 事業効果

- 1 会員及び有志の見守り活動を月1回程度実施してきた。中学生が自然に横断歩道を渡るようになった。挨拶も交わしている。
- 2 現在27名の戸隠中学校のバス通生徒が、悪天候時屋根つきのバス停に入って丸太椅子に座ってバスを待つ姿が見られ、生徒から感謝の声が寄せられている。人数は数値化できないが、雨の日に待合室外で待っている生徒の姿は見られなくなった。
- 3 待合室竣工式典や校長講話等により、住民が協働して待合室の設置や維持管理に力を尽くしている姿を、戸隠中学校の生徒の心に伝えられることができた。
- 4 待合室内に中学校の様子を伝えるような戸隠中学校専用の掲示板を設置した。それを静かに見ている二人の住民の姿が見られた。
- 5 バス停付近の住民11人から、会員に、いいことを実施してくれた。皆さんの活動を応援しているという激励の電話や話があった。

### 【目標・ねらい】

- 1 県道長野戸隠線中社方面行中村バス停に、会員と住民が協働して屋根つき待合室を設置する活動を通して、主に利用する戸隠中学校生徒の安全を守る。
- 2 単なる待合室ではなく、住民と中学生が協働で丸太椅子を作り、花壇や掲示板を設置して、居心地が良く、交流しやすい場所にする。
- 3 地域住民の中学校に対する熱い思いを生徒たちに伝え、生徒の自主性を重んじながら戸隠中学校及び地区住民との交流を進めて行く。
- 4 中社地区内と宝光社地区内バス停にも清掃や美化活動を広げて、安心・安全な憩いの場となる地域づくりを推進していく。

### 自己評価【B】

#### 【理由】

- ・ 見守り活動は、出来るだけ多く行いたいと思っていたが、月一回程度が精いっぱいだった。中学生との交流が図られてきた。
- ・ 計画通りの待合室が完成し、中学生や地域住民の利用が進んでいるが、資材調達の関係から完成が予定より大幅に遅れてしまった。
- ・ 待合室を中学生と住民との交流の場にしようと、丸太椅子や花壇、中学校からの掲示板を設置した。住民の利用も見られるようになってきたので、今後に期待している。
- ・ 当初、この事業に懐疑的な住民もいたが、応援してくれる人が徐々にではあるが増えてきている。

### 今後の取り組み

- 中学生の安全を守るために、できるだけ見守り活動を続けて中学生との距離を縮めて交流を図って行くように努める。
- 完成した待合室や花壇、掲示板などの維持管理や更新を会員と住民、中学校と協力して確実に進めるように努める。
- 待合室の環境を整えたり、中学校の掲示板を充実させたりして、地域内の交流の場として位置づくように努める。